



2012年度政策・制度要求と提言 7分野19項目を大澤知事へ提出!

9月15日、県庁6階秘書課会議室にて、「2012年度政策・制度要求と提言」を大澤知事へ提出しました。

北川会長より、「県民意識調査では、群馬県に住みたい・住んでいて良かったと言う声が8割以上を占めている状況であり、この様な期待を背景に、よりよい群馬県にしていければと思います。政策・制度要求と提言は、勤労者・生活者として会社員のみならず農業に携わる方など、幅広く協力いただき、1万人を超える意見のデータ集積結果を基にまとめ上げたものです。ぜひ、重く受け止めていただきたい」と挨拶し、提言書を手渡しました。

大澤知事は、「1万人もの意識調査は、行政でもなかなか難しく、連合群馬の皆さんだから出来る事であり、貴重なデータとして活用させていただきたい。昨年の要請を受け、利用しやすい労働相談体制の整備として、県民労働相談センターにフリーダイヤルを導入しました。今回の要請に関しても、多くの県民の意見と受け止め、しっかりと対応していきたい。県としても、県民が安全で安心して暮らせるよう、景気雇用対策、企業・福祉・教育の面においても、しっかりと取り組んでいきたい」との挨拶をいただきました。

意見交換では、群馬県雇用戦略会議で具体性を持った論議で成果を求めて行くことや、キャリア教育について太田東高での連合群馬の取り組みを紹介



意見交換では政策委員も積極的に意見を述べる



大澤知事(右)へ提言書を手渡す北川会長



山端副事務局長が提言内容を説明

し、県としても在学中に働くことに対する教育の必要性を認識しており、推進にあたっては積極的に協力して行くこと、群馬県が恵まれた自然環境を活かし間伐材の利活用を推進していることなどについて意見交換を行いました。

提言内容については、山端副事務局長から説明しました。

※提言内容は次ページに掲載しています。



政策策定にあたり助言をいただいた議員懇も参加